

都留市地名考

その八

窪田 薫

夏狩

焼畑やまはたに関する地名に、サシ、サス、ソリ、ソウリ、ナツチ、ナツカリなどがある。

焼畑とは原始的な農耕法の一つで、林野を焼きはらって畑とし、粟・稗、蕎麦そば・小豆・大豆などをつくり、二、三年して地力がなくなると、他の林野を同じ方法で新畑とし、遂次循環して耕作する方法である。都留郡は山地が多い関係から、焼畑に関する地名が多く残されている。

『地名語源辞典』によると、サシは、佐志、指、差が、サスは佐須、佐志、指の字が宛てられ、ソリ、ソウリは反、草里、楚里の字が地名用語として宛てられている。都留市与繩上手の庚申塔に「大叢里」の字名が記されている。

夏狩なつかりの地名語源について考えるに、『甲州夏草道中記』のなかで竹川義徳氏は、「焼畑に関する夏地は、西原・小菅・丹波地方に見うけられる。畑に労力と肥料を投入して常畑化したところで、夏地は

村の畑地の一等地である」と述べている。

狩については『地名語源辞典』に、「カリのつく地名には、狩・刈・刈・借・仮・雁・加里の字が宛てられ、刈田かてん(火田)の地名は岩手県に多い」としている。火田とは焼畑耕法のこと、火田民とは火田耕作者の意である。

夏狩の地名は、位置が日当りのよい窪地で、湧水に恵まれ、原始的な焼畑農耕から、比較的他地域より早い時期に夏地(常畑)化され、住民が安定して生活することができたことから、夏狩の語源が発生したものと考えられる。

都留市地名別評価額一覽からみた焼畑に関する小字名

地区	集落名		小字	
	十日市場	夏狩	宅地	田
東桂	鹿留		祖里畑	祖里畑山梨
菅野			祖里畑	祖里畑
大境			祖里畑	祖里畑
西野			祖里畑	祖里畑
中津森			祖里畑	祖里畑
上大幡			祖里畑	祖里畑
高畑			祖里畑	祖里畑
小形山			祖里畑	祖里畑
禾生			祖里畑	祖里畑

第四回 尾県学校写生大会開催

明治十一年(一八七八)に開校した旧尾県学校は百十五年たった今でも、当時の姿そのままにあります。

この建物は長安寺本堂と同様に県の有形文化財として指定され、貴重なもので現在は郷土資料館として、市内はもとより県内外からも多くの方々に訪れていただいています。

今年も、この建物をさらに皆さんに親しんでいただくため、写生大会を開催します。

当日は、指導員が初めての方や、久しぶりに写生をなさる方々にも親切にアドバイスをします。気軽に参加してください。

なお、画用紙は用意しますが、絵の具やクレパス等の画材は各自でご用意ください。

また、皆さんの作品は十月十七日(土)から二十三日(金)まで開催予定の動物写真家宮崎さんの写真展と同時に展示します。

開催日 10月4日(日)

午前8時30分～正午

定員 50名

申込締切 10月2日(金)

申込・問合せ

市教育委員会 社会教育課

尾県郷土資料館

☎(45)0675

午前10時～午後4時

(月・水・金曜日は休館)

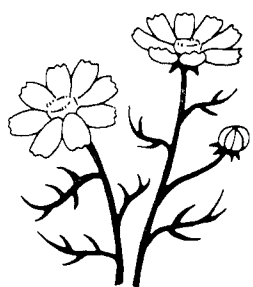
ふるさとの



9月

- 2日 生出神社例祭 (井倉)
- 3日 八王子神社例祭 (古川渡)
- 4日 八面神社例祭 (夏狩)
- 愛宕神社例祭 (九鬼)
- 七社神社例祭 (引の田)
- 金山神社例祭 (戸沢)
- 阿夫利神社例祭 (玉川)
- 生出神社例祭 (法能)
- 12日 お会式 信行寺
- 15日 春日神社例祭 (上大幡・高畑・中津森)
- 十二天神社例祭 (夏狩)
- 若宮八幡神社例祭 (コンニャクまつり)(金井)
- 浅間神社例祭(平栗・加畑)
- 五社神社例祭 (朝日曾雌)
- 三輪神社例祭 (細野)
- 16日 熱田神社例祭 (下大幡)

第三回 野外植物観察会



都留文科大学の森江晃三教授を講師にお迎えしての第三回の観察会は、文化会館～白木山～蟻山の狼煙台跡そして深田の発電所へと歩きます。

まだ本格的な秋には少し早い感じですが、名残りの夏と、秋の始まりの植物の姿をみたいと思います。

気の早い植物は、やがて来る冬へのそなえをしていることでしょう。

晴れば暑いと思われ、歩きやすい帽子などをお忘れなく、歩きやすい服装でご参加ください。

日 時 9月27日(日)

午前9時30分～正午

小雨決行(雨天中止)

集合場所 文化会館1階ロビー

定員 40名

締切 9月24日(木)

※参加料は無料ですが、保険料として一人百円をご負担いただきます。

申込・問合せ

市教育委員会 社会教育課